新入園児＆新入学生
それぞれの新しい出発へ

たびだち

園長のちょっといい話

園長　石井篤子

別れと出会い

三月　六名の子どもたちが　すくすくを巣立っていきました。　わんわん泣いていた子　しくしく泣いていた子　元気に走り回っていた子　口をとがらせて自分の意思を示していた子　等々　それぞれ個性豊かな子どもたちでした。幼児期の成長・発達はとても目まぐるしいものです。

社会的人格は順を追って発達する

寝てばかりいた赤ちゃんがわずか一年半ほどでみんな自力で歩けるようになり行動範囲も広がります。このころから大人から見るといたずら行動と思われる様子がみられます。このころの大人は　やっていいこと　やってはいけないことを教えていきます。それは　社会の一員として　人と関わり周りの人と　コミュニケーションを取って生きていけるようになってほしいからですね。卒園式で　卒園証書を渡すとき　子どもたちの顔を見ると　どうしても　一人一人のすくすくでの歴史が蘇り涙があふれてきます。今卒園した園児たちは　新しい環境を希望をもって受け入れています。　みんな　ステップを一つ上がれましたね。四月になると園内では　また大きな泣き声が響いています。

初めてお母さんと別れる体験をするので泣くということは　環境の変化を感じていて感情があるということで　個々の性格などが見えてくるので私たちにとっては　その後のアプローチがしやすいということになります。

新入園児さんもいずれ三月に卒園した子どもたちのように成長してくれるはずです。

その片鱗が見えていますよ。

- ランチを「いただきます」のあいさつの後に食べる。
- 自分の「おむつ」を自分で取りに行くことができる。（習慣になる）
- 自分のパジャマ入れ、布団がわかる。
- 長い時間　眠れる。
- 周りのお友達に　興味がある。　等々

こういう様子が見えてくると　保育士は　子供の能力を信じていろんなことへの挑戦を促がしていきます。その結果が自信になり次への挑戦に向かうようになります。保護者の皆さまにとっては　心配だったり　寂しかったり　子どもに申し訳ない　等々　今お気持ちは　複雑なのではないでしょうか？

そんな様子が子どもには伝わります。　どうぞ「後で必ず迎えに来るからね、お友達と仲良く遊んでいてね。行ってきます。」と言って　その気持ちを子どもに伝えてください。

その繰り返しが　子どもには安心感を与えてくれます。入園から二週間くらいで　みんな　お母さんと別れることができていたようですね。在園児はクラスが変わった　お友達の顔が少し違う　などということで　不安になって　泣き出す子もいましたが。それも　落ち着いてきましたよ。

他律から自立への育み

すくすくルール

・・・・

散歩に行くときは「行ってきます」
帰ってきたら「ただいま」を言う。
脱いだ靴は揃える。
呼ばれたらすぐ「ハイ」と返事をする
外からお客様がいらした時は
「こんにちは」と言う。

Smile Step

スマイル ステップ

かつては“ママサロン”という名前で、在園児のママ達を対象にこどもの発達についてお話をしたり、育児相談を受ける機会として不定期に開催していましたが、20周年を迎える今年は“Smile Step”と命名し、新たにすくすく内外のプレママ・パパや保育士を目指す学生さんも対象に、様々なテーマで集い学べるワークショップを実施いたします。

お家でもお子様と一緒に楽しめて、育児に楽しさをプラスできるようなヒントを見つけてもらえたら…

New program　詳しくはHPで

Rainbow English Club
レインボー イングリッシュ クラブ
特別支援 英語教室

Rainbow English Club

特別支援学級に通う小学生のお子様を対象とした英語活動です。障がい児ケアの経験や専門知識を有する職員が中心となります。

豊かな表情や大きなジェスチャー、シンプルな言葉で明確な意思表示をする英語は、コミュニケーションを苦手とする子ども達にはとても分かりやすく、

積極的に自分を表現するようになる様子が見られます。英語を学ぶ機会が等しく与えられるように、すくすくワールドの大切な取り組みとしていきます。